

2025年12月1日

各 位

会 社 名 データセクション株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員CEO 石原紀彦  
(コード番号: 3905 東証グロース)

問い合わせ先 法務部長 野澤祐一  
TEL. 050-3649-4858

**(開示事項の経過)  
大口受注に関するお知らせ**

当社は、2025年7月10日付で公表いたしました「大口受注に関するお知らせ」のとおり、業務提携先であるナウナウジャパン株式会社（以下「NNJ社」といいます。）を通じて、間接的に、世界最大規模のクラウドサービスプロバイダーである顧客（以下「本件顧客」といいます。）との間で、国内で開設予定のAIデータセンター（以下「国内第1号データセンター」といいます。）によるAIデータセンターサービスにかかる大口の利用契約（以下「当初大口受注」といいます。）を締結いたしました。

その後、国内第1号データセンターの開設プロジェクトを進めるなかで、本件顧客より、AI向けGPUサーバーの利用枠拡張に関する要望を受けたことから、当社といたしましては、本件顧客に対する提供価値の更なる向上及び中長期的な協業関係の深化に資するものと判断し、当該要望に応じることといたしました。

これに伴い、国内第1号データセンターの開設計画を見直した結果、同データセンターの開設予定期間及び当初大口受注による売上計上の開始時期を2025年9月から同年12月へと変更いたしました。

また、これと並行して、本件顧客からは、サービス提供開始時期に関する柔軟な対応及び追加的なGPUサーバー利用枠の早期提供についての要請を受けました。これを受け、当社グループでは、国内第1号データセンターの本格稼働に先立ち、国内外の有力なAIインフラ関連事業者との緊密なパートナーシップのもと、『TAIZA』※を通じた多様かつ柔軟なAIインフラを提供する体制を構築し、パートナー（以下「本件パートナー」といいます。）のGPUサーバー等のAIインフラを活用することで、2025年9月16日付で当初大口受注と同様にNNJ社を通じて本件顧客からの追加の大口受注（以下「本件追加受注」といいます。）に至りました。本件追加受注の内容は以下のとおりです。

**※大型GPUクラスターの運用を最適化する独自アルゴリズムシステム**

なお、当社は、オーストラリア連邦ニュー・サウス・ウェールズ州シドニーにおいて、新たなAIデータセンター（以下「オーストラリア第1号データセンター」といいます。）の構築を予定しておりますが、2025年10月3日付で公表いたしました「大口受注に関するお知らせ」のとおり、当初大口受注及び本件追加受注と同様に、NNJ社を通じて、間接的に、本件顧客との間でオーストラリア第1号データセンターによるAIデータセンターサービスにかかる大口の利用契約を同日付で締結しております。

**1. 追加受注の内容**

受 注 内 容	AIデータセンターサービス利用契約
受 注 金 額	2025年10月度月額約25.8百万USD（注1、2）（今後、供給枠が拡大する可能性があり、その場合、供給枠の拡大量に応じて増額）
契 約 期 間	2025年9月15日から2026年3月14日まで（自動更新条項付き）

(注) 1. 1USドルを2025年11月末日の終値156.15円にて円換算した金額は、月額4,028百万円となります。

2. 供給枠が順次拡大されたことから、2025年9月度月額は2.19百万USD（約321百万円）となっています。

## 2. 取引先の概要

### (1) ナウナウジャパン株式会社（2025年9月30日現在）

① 名称	ナウナウジャパン株式会社		
② 所在地	東京都中央区八丁堀四丁目3番5号11階		
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 近江 麗佳		
④ 事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ クラウドコンピューティングプラットフォーム、関連インフラストラクチャの開発及び運用</li> <li>・ IaaS、PaaS、SaaSソリューションを含むクラウドベースサービスの提供</li> <li>・ エンタープライズクラウド移行のためのシステム統合及びカスタム開発</li> <li>・ クラウドネイティブアプリケーション、マイクロサービスの開発及び管理</li> <li>・ セキュア、スケーラブル、ハイアベイラビリティなクラウド環境の運用及びメンテナンス</li> </ul>		
⑤ 資本金	1,000万円		
⑥ 設立年月日	2022年10月25日		
⑦ 大株主	近江 麗佳 90%		
⑧ 上場会社と 当該会社 との関係	資本関係	該当事項はございません。	
	人的関係	該当事項はございません。	
	取引関係	<p>当社と同社との間で、本件を含む、両社間の協業を目的として、業務提携にかかる基本合意書を締結しております。また、当社と同社との間で共同開発契約を締結し、当社は同社に対して、大型GPUクラスターの運用を最適化する独自アルゴリズムシステム「TAIZA」の開発を委託しております。</p> <p>また、当社と同社との間において、本件顧客向けにAIデータセンターサービスを提供するため、国内第1号データセンター、本件追加受注及びオーストラリア第1号データセンターにかかるAIデータセンターサービス利用契約をそれぞれ締結しております。これに加え、国内第1号データセンターにかかる運用保守の一部を委託するとともに、オーストラリア第1号案件にかかる運用保守の一部を委託予定です。</p>	
	関連当事者	該当事項はございません。	
⑨ 財政状態 及び 経営成績	守秘義務により非開示とさせていただきます。		

### (2) 本件顧客

本件顧客の意向かつ守秘義務により、本件顧客の企業情報は非開示とさせていただきます。なお、当社と本件顧客との関係につきましては、取引関係として、当社と本件顧客との間において、NNJ社を通じて、間接的に、国内第1号データセンター、本件追加受注及びオーストラリア第1号データセン

ターにかかる AI データセンターサービス利用契約をそれぞれ締結しており、資本関係、人的関係及び関連当事者については、該当事項はございません。

(3) 本件パートナー

本件パートナーの意向かつ守秘義務により、本件パートナーの企業情報は非開示とさせていただきます。なお、当社と本件パートナーとの関係につきましては、取引関係として、当社と本件パートナーとの間において、本件追加受注にかかる GPU サーバー等 AI インフラの利用枠購入契約を締結しており、資本関係、人的関係及び関連当事者については、該当事項はございません。

3. 今後の見通し

本件が 2026 年 3 月期の業績に与える影響は 2025 年 11 月 28 日付で公表いたしました修正後の当期連結業績予想に反映済みです。

以上